

会 議 の 要 旨

会議の名称	第9回川越市介護保険事業計画等審議会
開催日時	平成29年7月11日(火) 午後2時30分 開会 ・ 午後3時45分 閉会
開催場所	川越市保健所 大会議室(2階)
議長氏名	会長 齊藤 正身
出席委員氏名	岸委員、小高委員、伊藤委員、桐野委員、今野委員、宮山委員、萩原委員、橋本委員、荻野委員、小林(勝)委員、長峰委員、芝波田委員、船津委員、米原委員、原委員、小林(宣)委員、矢代委員、横田委員、若海委員
欠席委員氏名	栗原委員、藤林委員
事務局職員氏名	関根福祉部長 健康づくり支援課：嶋崎課長、佐藤副主任 高齢者いきがい課：洲名課長、宮下副課長、真坂主任 介護保険課：小高副部長、今井副課長、鍛冶副主任 地域包括ケア推進課：福原参事、三佐崎副課長、佐藤主幹、福島副主任、門倉主査
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告 (1) 第8回川越市介護保険事業計画等審議会について (2) 老人福祉センターの方針について (3) 川越市高齢者等実態調査の分析について 4 議事 (1) 「すこやかプラン・川越ー川越市高齢者保健福祉計画・第7期川越市介護保険事業計画ー」の骨子(案)について 5 その他 6 閉会
配布資料	1 次第 2 第8回川越市介護保険事業計画等審議会議事録…資料1 3 介護保険制度の実施状況に関する会計検査の結果についての報告書(抜粋)(平成28年3月 会計検査院)…資料1参考 4 老人福祉センターの方針について…資料2 5 川越市高齢者等実態調査の分析について…資料3 6 「すこやかプラン・川越ー川越市高齢者保健福祉計画・第7期川越市介護保険事業計画ー」の骨子(案)について…資料4 7 基本理念等 比較表(第5期～第7期)…資料4参考

議事の経過

1 開会

2 挨拶

会長による開会の挨拶

3 報告

(1) 第8回川越市介護保険事業計画等審議会について

事務局より、資料1を用いて報告

(2) 老人福祉センターの方針について

事務局より、資料2を用いて説明

(委員)

東後楽会館を廃止するにあたって、以前の議論の中で要支援1、2の方がどれくらい利用しているのか等あったと思うが、そういったことを踏まえた上で、廃止しても利用する人に不都合はないという判断だったのかどうか。あるいは、東後楽会館を廃止するとしても、別の場所に老人福祉センターとして新たにつくるというだけの需要があるのかないのか、それらを決めた上でこういった方針がでたのかお聞きしたい。

(事務局)

東後楽会館、西後楽会館の利用者については、介護度等は把握していないが、基本的には利用されている方は元気な高齢者がほとんどだという理解をしている。今後は後楽会館のような大規模な施設を整備するというよりは、身近な地域での通いの場を設けるような方向で考えていく。

(委員)

大規模な施設は整備しないとのことだが、今の段階では今後、温浴施設はつくらないということか。

(事務局)

今の段階では温浴施設というか、老人福祉センターを新たにつくるというような計画は福祉部としては持っていない。

(会長)

これから策定する次期計画の中に施設数の提示をしなければならないところではあるが、事務局からの説明のとおり、これからは、身近なところでサービスが受けられるようにというのが全国的にもそういった方向である。福祉センターは介護保険制度が始まる前からのも

のであり、少し役割も違うかもしれない。その辺のことも加味しながら報告は受けたということでもよろしくお願ひしたい。

(3) 川越市高齢者等実態調査の分析について

事務局より、資料3を用いて説明

(会長)

事務局から説明があったが、こういった調査や分析について造詣が深い副会長から意見をいただきたいと思う。

(副会長)

データが国レベルで一元化されると他の地区や地域との比較ができるが、現状ではそれが不可能であるということなので、個人の感想になってしまう点について御了承願ひたい。16ページ、17ページで、保険料と受けられる介護サービスの関連について分析がなされており、28ページでは今後市が取り組むべき高齢者施策についてまとめられている。これらから受け止めたイメージとしては、市民が介護サービスの必要性について各階層ともに、その価値を認めている。一方でサービス確保のために保険料をいくらでも負担するよというよいう状況にはなっていないというのが明らかになった感じがしている。言い換えるならば、介護保険制度の意義を認めてはいるけれども、制度の継続性を維持するためには、最終的には介護給付費を抑える努力をしないと制度が危うくなるよというよいう意思をもっているのではないかと思う。若干飛躍した受け止め方であるということは認識しているが、この部分に注目して、介護給付を抑えるために介護予防にどれだけ力を注ぐか、あるいは、重症化防止をどうやって進めるか。そして結果として認定率そのものを下げる努力をみんなでしようじゃないか、というような目標を掲げるのはいかがかなというよように感じた。28ページの結果でも、寝たきり予防のための取り組みという回答が多くなっている点について、そういう意識を市民がもっているとしたら、とても素敵なことではないかと思うので、この辺を一つの切り口として今後計画を練っていくのはいかがかなと思う。

(会長)

この分析結果をみて、感想やこのように考えるべきではないかといったよいう意見はあるか。

(委員)

インフォーマルサービスについてあまり周知されていないのが残念である。この3年間で広報において介護保険について触れていたのは1回しかなかった。遅くはないので、周知徹底するために広報だけではなく、人を集めて周知をしないといけないと思う。

(委員)

資料の前半の方の評価結果で、芳野圏域でリスクのある方が多いように見受けられるが、何か理由や原因として考えられることはあるか。

(委員)

事前に資料を見させてもらったので、地域包括支援センターよしのや介護サービス事業所に芳野圏域の状況について聞き取りを行った。絶対的なものではなく、一つの誘因項目にはなるのかなと思うが、比較的農業世帯、昔からの3世代同居や2世帯同居が多く、介護サービスに入っていくと、お嫁さんがやってあげっちゃっているという家庭が非常に多い。買い物もお嫁さんがやってしまう、通院も全部サポートしてしまうなど、本人がやらなければという所の部分に至っていない。しいて言えば、それが能力を奪ってしまっているという部分もあるのかなと思う。一方で、地域包括支援センター小仙波の方に聞いてみると、老夫婦世帯が多く、自ら買い物に行かざるを得ないといった状況がある。こういったことが直接の原因とは限らないが、そんな地域性があるのではないかと思う。

(委員)

咀嚼機能のリスクが取り上げられているが、これは介護予防において大事なものだと思し、この数年でリスクが高まる危険性もあるのではないかなと推測される。別の自治体の保健医療に関する計画策定に関わっているが、歯科医師の取り組みの中で、咀嚼や嚥下に関する患者への指導をおこなっているというのが、その自治体の調査では25%くらいとなっており、7割くらいはそういった指導をおこなっていないという結果がでている。歯科医師による診療の際にそういった指導をやっていただくのが望ましいのではないかと思し、これは在宅医療の取り組みに関してもある程度影響がある大事なものだと思う。

(委員)

介護の現場では認知症の方が多く、様々な課題がある。一昨年まで、医師会を中心に認知症をテーマに医療・介護の連携を図ってきた。川越市では2年ほど前から、医療系の10団体と、介護系の14団体の計24団体で、川越市と医師会を中心として地域包括ケア連携のためのコミュニティケアネットワークかわごえという協議会を立ち上げている。昨年1年間は食べるということをテーマに摂食・嚥下、その他口腔機能のことをメインテーマとして研修会、フォーラムを行った。今年は2年目となるが、やはり食べるということが大事であることから、今年も食べるをテーマに活動を行う。日々の診療がある中、個々の歯科医師がそういった活動に加わるのは困難であることから、歯科医師会として県の歯科医師会等と協力し、いろいろな資料を作成し、できるだけ広く提供できるようにシステムをつくっている最中である。いずれは各圏域ごとにそういったものを提供できるようにしていこうということで活動している。

(会長)

コミュニティケアネットワークかわごえの活動は、一般市民へというところまではまだ至

っておらず、現時点では、研修等を通して、サポートする側のスキルを上げようということ
を今やっているところであるが、この取り組みがそんなに遠くない将来、市民のみなさんに
届けられるのではないかなと思う。

(委員)

評価の中で社会的役割の判定が低い高齢者が5割以上という結果がでていますが、地域の支
え合いの部分で考えると、地域での交流の場や生きがいづくりなどがあるが、民生委員を含
めて、いもっこ体操やグランドゴルフの開催等、地域なりに努力されている。個人的な見解
であるが、地域会議の中で高齢者に対する支え合いの議論がまだ十分には行われていないの
ではないかと思う。その辺をテーマにして、もう少し深く各地域会議の中で福祉団体等と連
携するなどし、議論が深まっていけばよいのではないかと考える。

(会長)

この分析で終わりということではないと思うので、引き続き整理していつてもらいたい。

4 議事

- (1) 「すこやかプラン・川越－川越市高齢者保健福祉計画・第7期川越市介護保険事業計画－」
の骨子(案)について
事務局より、資料4を用いて説明

(委員)

第6期計画は地域包括ケアシステムを入れ、それを定着させようということだった。今回
の資料をみると、第7期は前回に比べて少し絞って、介護予防が一番に記載されているなど、
優先順位を決めて骨子案が作成されているように見受けられるので、全体の枠組みとしては
これでよいのではないかと思う。一つ質問をさせてもらおうと、現行の第6期では、いつまで
も安心してらせる地域づくりの目標に対し、高齢者にふさわしい住まいの計画的な整備、
安全・安心な生活環境の整備と具体的に書かれていたものが、第7期では少し具体的ではな
くなっている。これは骨子だからで、実際の計画の中では、具体的に書かれるのか。

(事務局)

現行の第6期計画に記載している事業については、精査した上で第7期計画に反映させて
いく考えである。

(委員)

骨子なので、具体的なことはこれからだと思うが、認知症を支える会に携わっている方に
話を聞いたところ、若年性認知症がすごい増えているとのことであった。これから具体的
なところが出てくるとは思うが、若年性認知症について触れた方が現状により近くてよい
のではないか。

(会長)

医師会でもいろいろと調べているが、診断率が上がったということもある。急激に増えたということではなく、発見率が上がってきたというか、早めに見つけられるようになったということだと思う。ただし、その後どうするかというのが難しいところであるので、医療的なことだけではなく、まちぐるみで支えていくといったことが必要になっていくので、計画の中に入れていく必要があるだろう。

(委員)

体系組み換え表の国の施策のところ、地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進とあり、その中で、介護保険と障害福祉制度に新たにサービスを位置付けるとあるが、具体的にはどのようなことなのか。

(事務局)

資料にある、高齢者と障害児者が同一事業所でサービスを受けやすくするため、介護保険と障害福祉制度に新たなサービスを位置付けるというもののほかに、例えば、介護保険の総合事業における通所のサロン等においても、高齢者だけということではなくて、メインは高齢者ではあるが、そこに子供や障害児者も一緒に集まるような形態のものも事業としてみるができるといったように、徐々にそういうようなかたちで共生社会を目指していくというような考え方である。

(委員)

地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進において、地域福祉計画策定の市町村への義務付けというのがありますが、川越市でもみんなで作る福祉のまち川越プランとして地域福祉計画がある。実はここで隠れてしまっているものがあって、川越市社会福祉協議会が地域福祉計画とリンクして同時につくっている地域福祉活動計画というものがある。これが非常に重要で、川越市では行政計画を比較的、川越市社会福祉協議会に委託しており、そこで地域の中でかたちを見える化していく、実現させていくというシステムになっている。例えば川越市では、生活支援コーディネーターは川越市社会福祉協議会が委託を受けている。地域福祉計画のなかではコミュニティーソーシャルワーカーというのを配置することになっており、この生活支援コーディネーターとコミュニティーソーシャルワーカーは非常にリンクしている。これらを踏まえると、計画策定においては、地域福祉計画の地域活動計画が加味されることでいい体制づくりができるのではないかと思う。

(委員)

川越市社会福祉協議会では、骨子案の基本目標にある、介護予防と健康・生きがいづくりの推進と地域支援機能の強化及びネットワークの構築にあたる部分について力をいれて、それぞれの地域にコミュニティーソーシャルワーカーを配置するなどしている。今後もこれらを強く推進して地域福祉活動計画を進めていきたいと考えている。

(委員)

現行計画の生きがづくりと生活支援体制の充実の施策にある、就労支援の充実が今回の骨子案には施策として出ていない。今回であれば、介護予防と健康・生きがづくりの推進の施策の、高齢者の社会参加と社会貢献の促進に該当するのではないかと思う。就労支援の充実により働きたい意欲のある高齢者が集まるので、細かい施策の中に出てくるとは思うが、もし入ってなければ、是非入れていただきたい。

(会長)

今回は、骨子であることから、中身についてはこれからだと思うが、前回出ていてまだそれが達成されていなくてやるべきことは残していかなければならないと思う。

基本方針に川越らしいとあるが、何をもって川越らしいというのか、もう一步踏み込めればと思う。例えば、要介護を受けないようにしようということ进行全面に出していくとか、社会参加を活発にしていこうとか、何かが見えてくると市民の興味も違うのではないかと感じる。国や県、他の市町村がおこなっていることを見ながらやらなければいけないということもあるだろうが、川越市らしいというようなものが考えられればいいなと思う。委員の皆さんも何か良い言葉の意味、中身が見えてくるようなものを考えていただければと思う。

今回の議事事項の骨子案についてはよろしいでしょうか。

(全委員)

はい

5 その他

6 閉会